

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 元気な美濃茶産地づくり推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 野菜果樹特産係 電話番号：058-272-1111 (内4120)

E-mail： c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 244 千円 (前年度予算額： 244 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-----|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 244 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 244 |
| 要求額 | 244 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 244 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・高齢化や後継者不足に伴う茶園の管理不足等により、生産量の減少や品質低下が見られる。
- ・茶価の低迷により、生産者の経営が悪化し、生産意欲も減退している。
- ・県内の荒茶加工施設は小規模で老朽化したものが多い。
- ・本県の茶業振興に資することを目的として、令和3年3月に「岐阜県茶業及び茶の文化の振興に関する計画」を策定した。

(2) 事業内容

- ・優良な茶園の継承に向けて、茶園台帳の整備を推進する
- ・荒茶の生産の機能を維持するため、茶工場の統合・再編を推進する。
- ・平坦地や中山間地域の特性に合う茶生産の拡大により、産地の維持拡大を進め、県茶品評会への出品による技術向上を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

「ぎふ農業・農村基本計画」にも位置づけた茶の生産振興について、県が負担し推進することは妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-----|----------------|
| 旅費 | 56 | ・ 事業推進に係る業務旅費 |
| 需用費 | 75 | ・ 事業推進に係る消耗品費 |
| 役務費 | 13 | ・ 事業推進に係る通信運搬費 |
| 負担金 | 100 | ・ 関西茶業振興大会負担金 |
| 合計 | 244 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 「ぎふ農業・農村基本計画」
- ・ 「岐阜県茶業及びお茶の文化の振興に関する計画」

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域の特性を活かした茶の生産を進めるとともに、優良茶園の管理と茶工場の再編統合を進め、茶産地の維持発展を図る。

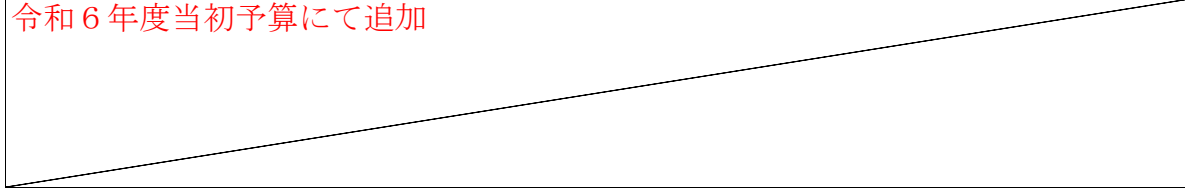
（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R1) | R3年度 実績 | R4年度 目標 | R5年度 目標 | 終期目標 (R7) | |
|------------------|---------------|------------|------------|------------|--------------|-----|
| | | | | | 達成率 | |
| ① 茶園管理台帳を備えた市町村数 | 1 | 1 | 2 | 2 | 4 | 25% |

○指標を設定することができない場合の理由

| |
|--|
| |
|--|

(これまでの取組内容と成果)

| | |
|-------|---|
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・高品質茶生産に係る研修会や各種栽培資材等実証試験などを行い、優良な美濃茶生産を推進した。 ・関西圏茶関係会議に出席し、茶業情勢に係る情報収集や他県等との連携を進めた。 ・関西茶品評会で上位入賞する等、生産者の茶生産技術の向上が図られた。 |
| 令和3年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・高品質茶生産に係る研修会や各種栽培資材等実証試験などを行い、優良な美濃茶生産を推進した。 ・関西圏茶関係会議に出席し、茶業情勢に係る情報収集や他県等との連携を進めた。 ・関西茶品評会で上位入賞する等、生産者の茶生産技術の向上が図られた。 |
| 令和4年度 | <p>令和6年度当初予算にて追加</p>  |
| | <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない | |
| (評価) 3 | 担い手の高齢化、加工施設の老朽化等により、生産量確保の問題が大きく、産地存続に向け、取組の必要性は高い。 |
| ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 2 | 関係者での問題意識は共有できており、今後、生産者段階での検討を進めるとともに、課題解決に向けた活動の実践が必要。 |
| ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) 2 | 岐阜県園芸特産振興会茶部会、日本茶インストラクター協会等との連携を密にすることにより、茶生産・消費拡大活動の効率性の向上を図っていく。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 単価向上に向け、緑茶の消費拡大を図る。また、茶園台帳の作成を推進し、遊休茶園の共同管理や作業受委託により、生産量の維持を図る必要がある。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県策定の「岐阜県茶業及びお茶の文化の振興に関する計画」に基づき、茶工場の再編・統合を推進する。 |
|--|